2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科目	区	分	専門分野	授業の方法		講	髮
科目名	心理特論Ⅶ		必修/選	₹択0	り別	必修	授業時数(単位数)	30	(2)	時間(単位)
対象学年	3年		学期及7	ゾ曜I	時限	後期	教室名			
担当教員	津田大希	実務経験と その関連資格	臨床心理士・公認心理師として、関西福祉科学大学EAP研究所で心理支援に従事。							

《授業科目における学習内容》

心理的アセスメントについて理解し、その中でも心理検査の実施や所見作成についての専門的知識や技術を身に着ける。

《成績評価の方法と基準》

定期試験の点数70% 出席点20点 提出物・受講態度10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

パワーポイントの配布資料、PC、プロジェクター、検査用具

《授業外における学習方法》

講義までに前回の資料を必ず復習すること。

《履修に当たっての留意点》

アセスメント、心理検査業務は心理職の重要な業務の1つです。興味をもって積極的に取り組みましょう。

	授業の 方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
弟 1 同	講義形式	授業を 通じての 到達目標	心理支援で行われる心理検査について説明できる①	PC		
		各コマに おける 授業予定	児童~成人領域で行われる心理検査について学ぶ。	プロジェクター 配布資料	配布資料を確認する。	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	心理支援で行われる心理検査について説明できる②	PC	講義前に第1回の講義	
2 回	報形式	各コマに おける 授業予定	児童〜成人領域で行われる心理検査について学ぶ。	プロジェクター 配布資料	講義制に第1回の講義 内容を復習すること。	
第	第3回	授業を 通じての 到達目標	心理支援で行われる心理検査について説明できる③	PC	- b - b - c の - # - 古 - c - c - c - c - c - c - c - c - c	
3		各コマに おける 授業予定	児童〜成人領域で行われる心理検査について学ぶ。	プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を 復習すること。	
第	講	授業を 通じての 到達目標	心理支援で行われる心理検査について説明できる④	PC	としての誰苦中やさ	
4 □	義形式	多日マに 各コマに		プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を 復習すること。	
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	通じての 心理検査の実施と解釈について説明できる① PC		これまでの講義内容を	
5		各コマに おける 授業予定	描画法検査の実施法を学ぶ。	プロジェクター 配布資料 検査用具	これまでの講義内容を 復習すること。	

	業の法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第義		授業を 通じての 到達目標	心理検査の実施と解釈について説明できる②	PC プロジェクター	これまでの講義内容を	
6 回	彩 式	各コマに おける 授業予定	描画法検査の解釈と所見の書き方を学ぶ。	配布資料 検査用具	復習すること。	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	心理検査の実施と解釈について説明できる③	PC プロジェクター	これまでの講義内容を 復習すること。	
7 回	我形式	各コマに おける 授業予定	知能検査の実施法を学ぶ。	配布資料検査用具		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	心理検査の実施と解釈について説明できる④	PC	これまでの講義内容を 復習すること。	
8 回	我形式	各コマに おける 授業予定	知能検査のスコアリングについて学ぶ。	プロジェクター 配布資料 検査用具		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	心理検査の実施と解釈について説明できる⑤ PC プロジェクター		これまでの講義内容を	
9 回	彩形式	各コマに おける 授業予定	知能検査の所見の書き方、解釈について学ぶ。	配布資料 心理検査	復習すること。	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	心理検査の実施と解釈について説明できる⑥	PC プロジェクター	これまでの講義内容を	
10回	彩 式	各コマに おける 授業予定	作業検査法(内田クレペリン精神検査)の実施法について学ぶ	配布資料 心理検査	復習すること。	
第	授業を 通じて 講 到達目		心理検査の実施と解釈について説明できる⑦	PC プロジェクター	> ねずるの誰美力なた	
11 回	義形式	各コマに おける 授業予定	作業検査法(内田クレペリン精神検査)の実施法について学ぶ	配布資料 心理検査	これまでの講義内容を 復習すること。	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	心理検査の実施と解釈について説明できる⑧	PC プロジェクター	これまでの講義内容を	
12回	我形式	各コマに おける 授業予定	内田クレペリン精神検査の解釈と所見の書き方について学ぶ。	配布資料 心理検査	復習すること。	
第	授業を通じての 選挙 到達目標		検査の実施と解釈について説明できる⑨ PC プロジェクター		> れよべの誰羊中点 *	
13 回	義形式	各コマに おける 授業予定	認知機能検査の実施法、所見の書き方、解釈について学ぶ。	配布資料 心理検査	これまでの講義内容を 復習すること。	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	心理検査の結果の報告について説明できる。	PC	としての誰としたと	
14	幕 形式	各コマに おける 授業予定	総合所見としての心理検査報告書の書き方を学ぶ。	プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を 復習すること。	
第	講	授業を 通じての 到達目標	講義を振り返り、アセスメントへの理解を深めることができる。	PC	> わまでの誰羊中やナ	
15 回	義形式	各コマに おける 授業予定	まとめと最終確認	プロジェクター 配布資料	これまでの講義内容を 復習すること。	